お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について…………汚れを落とす場合は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- 表示板の交換について…………長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

ランプの交換方法

ランプモニターが点滅するとランプの交換時期です。(約6年半毎)
(注)ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

ランプ	CF110T4EN

1 枠を開ける

2 ランプコネクタを外す

①押しながら
②引き抜く

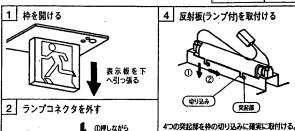
電線を引っ張らないでください。
感電・火災の原因となります。

3 反射板(ランプ付)を外し、ランプを交換する

反射板

必ずランプの両端を持って外してください。
ランプ破損の原因となります。

4 反射板(ランプ付)を取付ける

4つの突起部を枠の切り込みに確実に取付ける。

5 ランプコネクタを接続する

接続が不十分だと火災・不点灯の原因となります。

6 リセットスイッチを押す

電源通電状態でリセットスイッチを押し、ランプが点灯するかを確認する。

リセットスイッチ

正常動作
充電モニター　(緑)点灯
ランプモニター　消灯

7 枠の取付

本体
ツメ
枠

①本体のツメにバネを差し込む
②枠を押し上げる
この時、電線をはさまないでください。
感電・火災の原因となります。

蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても20分間以上非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

蓄電池	FK172 (3.6V600mAh)

1 枠を開ける

2 蓄電池コネクタを外す

電線を引っ張らないでください。
火災・不点灯の原因となります。

3 蓄電池を交換する

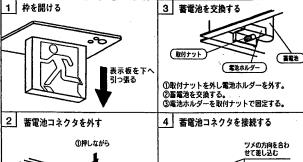
取付ナット
電池ホルダー
蓄電池

①取付ナットを外し電池ホルダーを外す。
②蓄電池を交換する。
③電池ホルダーを取付ナットで固定する。

4 蓄電池コネクタを接続する

接続が不十分だと不点灯の原因となります。

5 枠の取付

本体
ツメ
枠

①本体のツメにバネを差し込む
②枠を押し上げる
この時、電線をはさまないでください。
感電・火災の原因となります。

6 非常点灯の確認

電源通電状態で点検スイッチを押し非常点灯確認する。
24時間充電後、点検スイッチを押し非常点灯することを確認する。

点検スイッチ

充電モニター(緑)は消灯します。

Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換、およびご使用済みの電池の破棄に際しては、ニカド電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

三菱電機照明株式会社　〔〒247-0056〕神奈川県鎌倉市大船2-14-40　☎(0467) 41-2728

取説No. E766Z980H20

MITSUBISHI　ルクセントスクエア（一般屋内用）　取扱説明書

保管用

(天井埋込型)　KSH1431M［C級(10形)避難口　片面型］〔電池内蔵型〕

- 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

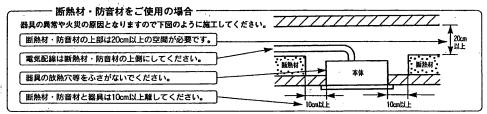
安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行ってください。
  施工に不備があると非常点灯せず、正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付・天井直付・斜め天井取付はしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解しないでください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい必ずD種(第3種)接地工事をしてください。
  接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。

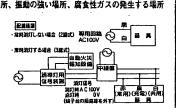
断熱材施工 不可

断熱材・防音材をご使用の場合

器具の異常や火災の原因となりますので下図のように施工してください。

⚠注意

- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5〜35℃以外では使用しないでください。
  蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時、連続点灯し使用してください。
  常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
  自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 蓄電池の充電
  24時間充電後⇒非常点灯確認してください。

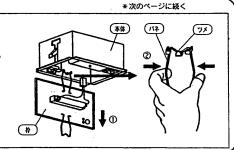
器具の取付方法

＊次のページに続く

1 取付前の確認

器具質量(1.1kg)に十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。
強度不足ですと、落下の原因となります。

ロックウール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
補強材なしの場合、光モレの原因となります。

2 枠の取り外し

枠を本体から取り外す。
①枠を引っ張って開ける。
②バネをつまんでツメ(3点側)から外す。

この紙は再生紙を使用しています。

＊＊＊＊＊＊

器具の取付方法(続き)

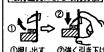
3 表示板の取付

①表示板取付ネジを外す。
表示板の封印テープを外す。
封印テープを外した後､逆方向にしないでください。
表示板の落下･破損の原因となります。
②枠の点検スイッチ用穴を右手前にして避難方向を確認し､取付ネジで確実に取り付ける。
取付に不備があると正しい避難誘導ができないほか､落下の原因となります。

表示板取付ネジ
点検スイッチ用穴
封印テープ
表示板

4 本体取付

•電源線・アース線を電源穴から引き込む。
•本体を取付ける。
本体取付方向は点検スイッチを右手前にして取付けてください。
取付に不備があると器具落下の原因となります。

取付金具による取付方法

①押し出す　②強く引き下げる
取付金具はつまんで引き下げないでください。
天井とのすきまの原因となります。

吊りボルト
天井面より40~45mm
ボルト吊りの場合
器具中心より10mm
器具前面方向
取付穴
90±1
172±1
アース線
取付天井厚4~24mm
電源線
端子台
点検スイッチ
取付金具
アース端子
ナット・バネ座金・平座金(別途)

5 電源線、アース線の接続

•電源線を端子台接続する。
端子台の容量は20Aです。
•アース線をアース端子に確実に接続する。
接続が不完全な場合､容量オーバーの場合､火災･感電の原因となります。
•器具の電源線は器具の内部に押し込んで下さい。
枠と天井のすきまの発生の原因となります。

6 枠の仮取付

枠の穴と点検スイッチの方向を合わせ、バネをつまんでツメ(3点側)にひっかける。

7 ランプ･蓄電池コネクタの接続

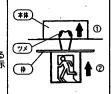
•蓄電池コネクタを接続する。
ツメの方向を合わせて差し込む。

接続が不十分ですと非常点灯しません。

•ランプコネクタを確実に接続する
ツメの方向を合わせて赤色表示が見えなくなるまで差し込む

接続が不十分ですと不点の原因となります。

8 枠の取付

•取り付ける際の線かみに注意してください。
火災・感電の原因となります。

①本体のツメにバネを差し込む
②枠を押し上げる

9 充電状態と非常点灯の確認

•電源通電状態でランプおよびモニターランプが点灯するか確認する。

正常状態　充電モニター(緑)は点灯し　ランプモニターは消灯

・点検スイッチを押し、非常点灯するかを確認する。
・24時間充電後、点検スイッチを押し非常点灯することを確認する。
正常に動作しない場合は『故障かな?と思ったときは』の項を参照してください。

故障かな？と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　　象	考えられる原因	処　　置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	点検スイッチを押す。
	ランプコネクタが外れている。	コネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後に、リセットスイッチを押す。
	消灯スイッチがOFFになっている。	消灯スイッチをONにしてください。
表示面が暗い	周囲温度が5~35℃の範囲外である。	5℃以下の場合、暗くなる。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが枠に押されて非常点灯状態になっている。	枠の穴と点検スイッチの位置を正しく合わせ直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
ランプモニターが点灯している	ランプコネクタが外れている。	コネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
非常点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	コネクタを確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
短時間しか点灯しない(20分未満)	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に20分以上点灯後、突然消える ランプが点灯しない	蓄電池の過放電を防止するため、ある電圧までさがると消灯します。正常な動作です。	

取説No. E766Z980H20

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

•ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●ランプ両端のゴムブッシングおよび内蔵部品ケースは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。やけど・感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
●照明器具には寿命があります*1。3~5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

*1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。
但し蓄電池は、4~6年です。

使用上のご注意

コネクタ、リード線は (器具の取付方法)、(お手入れ・交換部品) にしたがい処理してください。

充電モニター（緑）……………蓄電池充電中は緑色のモニターが点灯します。

ランプモニター…………………ランプモニターは、ランプの寿命や異常などをお知らせするものです。

【赤色点滅】　ランプ交換時期の目安です。器具設置後又は、ランプ交換後約6年半をタイマーでカウントし、ランプ交換時期の目安を赤色点滅でお知らせします。

【赤色点灯】　ランプ又は、ランプの接続に異常が発生しています。

ランプモニターが点滅したら (ランプの交換方法) にしたがって交換してください。

(注)・ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

◆定期点検　3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間（20分以上)、切換動作などの機能点検も合わせておこなってください。
(点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。)

○設置年月日　　年　　月　　日　　○取付場所　　　　○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

器具定格・接続図

定格

品番	KSH1431M
定格電圧	専用電源 AC100V
入力電流	0.065A
入力電力	4W

接続図